

## 2021 年度学生 FD (FIT-join) 活動計画について

FIT-join

本学における学生 FD (FIT-join) では、本学の授業改善を学生の視点から教職員と一緒に考え、教職員と学生をつなぐ活動によって本学での「学びのコミュニティづくり」の役割を担い活動を継続しています。昨年度からの課題であった学生同士の縦と横のつながりをつくるために 2021 年度は、学生の学びへの意欲を高める活動および授業についての学生の声を教職員に伝え学生の視点から授業改善に寄与する活動を重点実施事項に掲げ、以下の活動を計画しています。現在、月に 1~2 回のミーティングを行っています。

## 1. 学生の学びへの意欲を高める活動

## (1) 新入生オリエンテーション (FIT-in セミナー学生企画)

新入生が学びの仲間づくりのきっかけを作れるように学生同士のつながりを意識したコミュニケーションゲームを企画運営し、大学生活をスムーズにスタートすることを目指す。

今年度は 4 月 5 日 (月) ~ 4 月 7 日 (水) の 3 日間の FIT-in セミナーで友人作りのアイスブレイク (Ito ゲーム) を企画実施。実施後のアンケートでは 5 名以上友人ができた +2~3 名友人ができた = 3 学部 87% の回答が得られ、「話したことがない人と男女問わず仲良くなれた。」「連絡先を交換して終了後も会話ができるようになった。」とのコメントが得られた。4/23 に企画メンバーで振り返りを行い、次年度に向けての課題を確認した。2022 年度については 12 月頃検討開始。

## (2) 学生同士の座談会 (勉強会) の開催

学生同士の交流を図りながら学びへの意欲を高めるために学部学科を超えたコミュニティづくりの場を企画、運営する。

- ・縦の横の繋がりを作る (同じ目標の仲間を作ることで横の繋がりを強化)
- ・意欲向上、興味を持つきっかけ作り (テーマ: 就活、留学、資格、大学院など)

時期: 10 月

## (3) 教員または先輩インタビュー

授業において工夫をされている先生へインタビューを実施し、先生方の授業や学生に対する想いを伺い内容を学内に配信することで学生の授業への興味・喚起を促す。今年度から教員だけでなく大学での学びを深めた先輩なども対象に含むことも検討。先生 3 人、先輩学生 3 人にインタビュー予定。

時期: 後期初め

## 2. 授業についての学生の声を教職員に伝え学生の視点から授業改善に寄与する活動

### (1) 学生アンケート

学生が授業や大学生活に対して抱いている不安や改善して欲しい点についてアンケートを行い、結果を分析し、教員との意見交換の場で授業改善に向けた提案をする。今年度は学部生を対象とし、ウィズコロナ、アフターコロナを見据え、対面とオンライン講義について思うこと（2, 3, 4 限定）をアンケートし、ICT を活用した講義や対面とオンラインのハイブリット授業の発展に向けて先生たちの意見も踏まえてアンケートを作成したい。

時期：7～8月

### (2) FD Café 参加

教職学でのFD Cafe に参加することで、学生の声を教員に伝え、授業の実施者である教員と受講者である学生がテーマに関してグループワークを通して理解を深め、今後の本学における授業の推進、全学的な授業改善に寄与する。今年度は学生アンケート結果を参考に先生方と今後の授業のあり方を議論してみたい。

時期：9月予定

## 3. その他

### ・FIT 学生団体サミット

学内の学生団体に所属している学生がお互いの活動を共有、理解し、そこから見えてくる各団体における課題や解決策を学生同士で話し合い、各団体や個人の活動の発展につなげる。

時期：12月実施

### ・メンバー募集

5月にメンバー募集説明会を実施。

第1回：5月12日（水）14：40～実施。13名参加（11名対面、2名オンライン）

第2回：5月19日（水）16：20～実施。1名参加（オンライン）

その他（メール、来室）4名

新規15名加入。合計20名。

### ・Future Design Vol.5 発行

教員インタビューの記事および学生FDの活動を掲載し、FIT-joinの活動の認知度の強化につなげる。

時期：2月納品

以上

### \* ご参考～福工大の学生FDとは～

福岡工業大学における学生FD活動は、本学の授業改善を教員・職員・学生の三位一体で改善・向上させようとする取り組み、およびそれに関わる活動である。学生FDスタッフは本学の授業改善を学生の視点から教職員と一緒に考え、教職員と学生をつなぐ活動によって本学での「学びのコミュニティづくり」の役割を担う。具体的には、学生の本音を吸収し、学生が感じていることを教職員に伝える、また教職員が考えていることや課題を学生の視点から考え、それを学生に伝える存在として活動する。その主体的活動によって本学の授業改善活動の活性化を促進する。